

Message



Dennis Smith
ホットスプリングス
姉妹都市基金初代会長
デニス・スミス さん

姉妹都市提携20周年に寄せて

ホットスプリングス市での姉妹都市関係発展についての議論のスタートは、22年前にさかのぼります。それから2年後の1993年、私たちの市と花巻市は、ホットスプリングス商工会議所の年次総会において正式に姉妹都市提携をしました。

提携後、最初の数年間で花巻市からは大きな訪問団が訪れてくれました。1988年には、ホットスプリングスコンベンションセンターの開所式に鹿踊を含めた訪問団が出席しています。

1997年には、花巻市との交流を促進する手助けをし、地域の教員が花巻市を訪問する際の資金を提供するホットスプリングス姉妹都市基金が創設されました。

創設後、ホットスプリングス商工

会議所と市当局は、姉妹都市関係について認識するようになり、このプログラムに対して大きなサポートで答えてくれて、さらに市は姉妹都市コーディネーターという職も創設しました。

現在、姉妹都市プログラムは、ホットスプリングス広報担当と同姉妹都市基金によって行われています。

姉妹都市プログラム発展の議論が始まった22年前には、花巻市のような市と姉妹都市提携ができるとは想像もしませんでした。花巻市のホットスプリングス市に対する盟約は、1993年の姉妹都市提携時の期待をはるかに上回っています。

花巻とホットスプリングスとの関係が今後ますます強くなり、発展することを願って。乾杯！

交流で育む友好関係

20年前の提携調印から現在に至るまで、両市の友好を深めるさまざまな取り組みが市や国際交流協会はもとより、市内の団体や個人により行われています。



①ホットスプリングス市の中学校を訪問した研修生②花巻まつりに参加した市民訪問団③湯口中学校を訪れたホットスプリングス市の教員④太田地区ふるさと交流会に参加し、親睦を深める同教員

■青少年海外派遣研修事業

市内の中学生・高校生がホットスプリングス市でのホームステイや、現地の学校への通学などを体験。異文化に触れながらお互いの友情を築いています。また、この事業をきっかけに、姉妹校の提携(4組)にも発展しています。

■青少年・教員等受け入れ事業

や市民訪問団が本市を訪れ、市民との交流を深めています。教員受け入れ事業では、ホットスプリングス市の教員が本市の教育現場を視察し、自国での活動に生かしています。

■姉妹都市交流推進事業

市内の団体や個人が現地を訪れ、芸術などの技能を紹介したり、独自のテーマで研修したりと、市民同士の草の根の交流が進められています。

本年度の交流事業

本年度も相互の訪問などにより、両市の友好関係を築いていきます。皆さんも交流事業に参加して、ホットスプリングス市の歴史、文化、習慣などに触れてみませんか。主な事業は次のとおりです。

■訪問！ホットスプリングス市へ
姉妹都市提携20周年の記念すべき年を市民の皆さんと共に祝いするため、ホットスプリングス市を訪問する「市民ツアー」を実施します(詳しくは左記参照)。また、青少年海外派遣研修事業として、昨年度に引き続き、6人の中学生と1人の引率教員を派遣します。

■歓迎！花巻市来訪の皆さん

花巻を訪れるホットスプリングス市の皆さんとの交流から、より一層、親善を深めていきます。

◎教員受け入れ
6月5日(水)～12日(水)、教員4人、学校の視察など

◎高校生受け入れ
7月10日(水)～17日(水)、高校生など11人、ホームステイ、体験通学など

◎市民訪問団受け入れ
9月10日(火)～15日(日)、ホットスプリングス市民25人、花巻まつり参加、市民交流など

※教員や高校生のホームステイの受け入れを、市民の皆さんにお願いしています。

参加募集！

ホットスプリングス市
訪問市民ツアー

姉妹都市提携20周年「市民ツアー」の参加者を募集します。

【日程】10月17日(木)～23日(水)
【行程】▶17日 花巻市ー成田空港ーアトランタ空港ーリトルロック空港ーホットスプリングス市 ▶18日～20日 記念行事など参加 ▶21日 ホットスプリングス市ーリトルロック空港ーアトランタ空港 ▶22日 アトランタ市内観光ーアトランタ空港(機内泊) ▶23日(機内泊)ー成田空港ー花巻市
【募集人員】40人(最少催行人員30人)
※定員になり次第締め切り
【旅行費用】265,000円
※燃油サーチャージ・空港税の変動により、変更となる場合があります
【募集締め切り】8月30日(金)
【問い合わせ】トップツアー株式会社 岩手中央支店(北上市大通り1-3-27 ☎0197-65-3232)

Interview



Momoka Ooishi
ホットスプリングス市
平成23年度派遣研修生
(湯本中学3年生)
大石 桃香 さん(14)

日本と外国の違いを感じたいと思い、ホットスプリングス市への派遣研修に応募し、参加しました。9日間の旅でしたが、普段の食事や学校での過ごし方など、日常生活のさまざまな場面で日本との違いを実感しました。みんなが気軽に声を掛けてくれたのもその1つです。

現地の中学校を訪れた際には、パソコンで英語を調べながら会話をしたり、手作りの名刺を交換したり、楽しい時間を過ごしました。その時にできた友だちとは、今でもメールで連絡を取り合っています。

ホットスプリングスからも多くの人に花巻に来てもらい、もっと交流ができればいいですね。

Interview



Yukio Kuzumaki
花巻・ホットスプリングス
交流委員会会長
葛巻 幸男 さん(70)

上ノ山鹿踊保存協議会の一員として、平成10年と平成19年にホットスプリングス市を訪れ、同市の多くの人と家族ぐるみの交流をしてきました。平成22年には、市民レベルでの親善をさらに深めるため、「花巻・ホットスプリングス交流委員会」を設立し、再度渡航。ことしも、姉妹都市提携20周年の行事に参加するため訪問します。

交流は顔を合わせてコミュニケーションを取ることが大切だと思っています。市民の皆さんも、まずは姉妹都市に目を向け、さまざまな交流の機会に参加してみたいかがでしょうか。文化の違いを感じることで新たな発見があり、視野を広げることができると思います。